



小川駅西口地域のまちづくり／交通不便地域の課題解決

山岸真知子議員(市議会公明党)

小川駅西口地域のこれからのまちづくりについて

質問 ①小川駅西口地区市街地再開発事業の現在までの進捗状況と今後のスケジュールは。

②工事期間中の安全対策の取り組みと周辺地域への周知は。また、代替自転車駐車場対応は。

市長 ①準備組合では組合設立に向けた権利者の同意取得に取り組んでいる。順調に進んだ場合は元年度中に組合設立、2年度中に工事中の予定である。

②今後設立される予定の組合とともに十分な対策と丁寧な情報提供に努めていく。また、代替自転車駐車場は、土地利用状

況を踏まえ適切に対応していく。

交通不便地域の課題解決に向けて

質問 ①公共交通網の総合的な見直しに取り組むべきでは。

②南西部地域(B地域)のコミュニティタクシー実証実験運行の試行運行への移行条件は。

市長 ①南西部地域の交通体系が整備された段階で総合的に見直しを図る必要がある。市民の声を広く聞くなど、地域に求められる公共交通を目指していく。

②1日の目標乗車人数は70人程度だが、移行には柔軟な判断が必要であり、地域一体での取り組みも不可欠と考えている。



市議選の投票率向上／ホームページで市民参加・協働の推進を

安竹洋平議員(一人会派の会)

市議会議員選挙の投票率向上に向けて

質問 ①郵便での不在者投票に係る要介護状態区分等の拡大は。

②期日前投票拡充は告示日直後の選挙広報配布等が前提では。

市長 ①市長が議員を推薦する場面があったが二元代表制の中で政治の透明性が損なわれるのでは。選挙管理委員会事務局 ①国の有識者研究会の提言は改正に向け国会審議されていないようである。改正内容は選挙に参加しやすい環境を整うものと認識。

②両者は切り離して考えることが適当と考えている。

ではないため答えられない。

小平市の顔ともいえるホームページで市民参加・協働の推進を

質問 ①市ホームページ運営の根拠と目的は。

②各課が情報を掲載する際の具体的な指針はあるか。

市長 ①根拠は確認できないが、健全で、進化するまちをめざしてを實現する手段の1つ。目的は行政の透明性を高め、情報共有で参加と協働を進めること。

②日本工業規格への準拠など。③アンケート機能を活用し市民参加拡充を図るなどしている。



小平市における文化芸術振興について

山田大輔議員(政和会)

小平市における文化芸術振興について

質問 ①市における文化芸術のあり方についての見解は。

②総予算に対して、過去5年間の文化予算の割合は。

市長 ①文化芸術は人々に感動や生きる喜びをもたらす、人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化させる上で大きな力となることから、市民生活で日常的に身近に触れる機会の提供が大切と認識している。

②人件費を除く文化スポーツ課における文化芸術に係る予算の一般会計に占める割合は、平成27年度が1.1%、平成28年度が1.3%、平成29年度が1.0%、平成30年度が0.9%、令和元年度が1.0%である。

課における文化芸術に係る予算の一般会計に占める割合は、平成27年度が1.1%、平成28年度が1.3%、平成29年度が1.0%、平成30年度が0.9%、令和元年度が1.0%である。

活用した公認マーク使用による事業広報や小平市国際交流協会等と連携した取り組みを行いながら文化芸術の機運醸成に努めている。また、市内回遊型イベント食・農・文化めぐりん小平で市内文化施設等をめぐり東京2020大会を市全体で盛り上げていく意識を醸成するとともに、さまざまな主体が関わりながら多彩な文化の魅力を発信している。



市内見守りカメラの設置状況／小平第五小学校の給食食材納入

比留間洋一議員(政和会)

市内の見守りカメラの設置状況について

質問 ①公民館ごとの設置数は。

②設置されている市立公園の数は。

市長 ③市立公園での設置の基準は。教育長 ①中央公民館に1台、小川西町公民館を含む西部市民センターに2台、仲町公民館を含むなかまちテラスに11台の防犯カメラが設置されている。

市立 ②通学路の防犯カメラは3公園に設置されている。また、中央公園の鷹の台駅への連絡通路にある2基のエレベーター内とエレベーターをつなぐ地下通路に計4台の防犯カメラがある。

③現在設定していない。

小平第五小学校の給食食材納入について

質問 ①納入に関して危険な状況が見られるが、見解と対策は。

②平成31年3月以降、西側東部公園内通路から納入できなくなったことへの今後の対応策は。

教育長 ①全て東側正門から納入していると認識している。東側正門前道路はスクールゾーンであるため通行許可証を発行し、歩行者に注意して徐行するなど安全運転をお願いしている。

②現在の通学時間帯の状況を踏まえた上で、児童の安全確保を優先した対応を検討していく。



家庭ごみ有料化等の取り組み状況／在宅医療と介護の充実

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

家庭ごみ有料化、戸別収集の取り組み状況について

質問 ①指定収集袋を買いに行けない高齢者や障害者への対応策は。

②ゼロ・ウェイストに取り組み事業者を市独自の基準で認証する制度を創設できないか。

市長 ①介護保険サービスや障害福祉サービスでそれぞれ対応している。一部取扱店では指定収集袋の配達サービスを実施している。

②市としてもリデュースをこみ減量のための重要課題と捉えており、さらなるごみ減量に向けて食品ロスに取り組み事業者

等への新たな認定制度について検討していく。

在宅医療と介護の充実で住みなれた地域で暮らしていくために

質問 ①訪問診療を行う在宅療養支援診療所の利用状況は。

②ICTを活用した情報共有ツールであるメディカルケアステーションの活用状況は。

市長 ①平成30年9月実施のアンケートの結果では1か月当たり平均実人数が約900人であった。

②活用状況は把握していないが、医療機関やケアマネジャーからは末期がん等の容体が不安定な場合等において情報共有の手段として効果的と聞いている。



保育無償化／ごみ減量の目標等可視化／オリパラホストタウン

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

幼児教育、保育の無償化について

質問 ①無償化による保育ニーズの高まりの見込みは。

②副食費を実費徴収すると多子世帯が負担増となるおそれがあるが給食費無償化への考えは。

市長 ①二一歳の飛躍的増加はないが幼稚園も含めた二一歳の増加に影響が出ると推測する。

②国の考え方を基本に、他市の動向等を勘案し検討していく。③詳細は把握していないが、今後利用者の把握に努めていく。

家庭ごみ有料化等の目的、目標とプロセスの可視化を

質問 ①ごみ減量、コスト増減等ホームページ等で公開しては。

②ごみ減量ペースが早いときは袋の価格の見直し等を前倒しで行えないか。

市長 ①事業概要「小平市の環境」に掲載し公開している。

②手数料は約5年で見直す見通しだが期間にとらわれず一定の減量効果等が十分に確認された段階で見直しを検討していく。



B地域のコミュニティタクシーの現状を問う

福室英俊議員(政和会)

B地域のコミュニティタクシーの現状を問う

質問 ①鷹の台駅西側ルートの実証実験で浮かんだ課題は。

②今後の鷹の台駅西側ルートの再実証実験の予定は。

市長 ③上水本町・一橋ルートの設定に当たり、取り入れた住民要望と反映されなかった要望は。

④上水本町・一橋ルートの実証実験が元年8月30日に終了するが、その後のロードマップは。

ないが、コミュニティタクシーを考える会とともに今後の進め方について検討していく。

③医療機関等に行けること、十小通りの住民の利便性を向上すること等の要望があり考える会で検討しルート設定を行った。小平第十小学校から東側の十小通りをルートにすること、スーパーマーケット付近に停留所を設けることについては交通安全等の観点から反映できなかった。

④地域の特性や課題等を踏まえ、鷹の台駅西側ルートも含めより低かったことから、運行ルート等の検討や周知方法の工夫などが課題であると捉えている。

②現時点では特に決まってい



用語の解説

比留間洋一議員(政和会)

市内の見守りカメラの設置状況について

質問 ①公民館ごとの設置数は。

②設置されている市立公園の数は。

市長 ③市立公園での設置の基準は。教育長 ①中央公民館に1台、小川西町公民館を含む西部市民センターに2台、仲町公民館を含むなかまちテラスに11台の防犯カメラが設置されている。

市立 ②通学路の防犯カメラは3公園に設置されている。また、中央公園の鷹の台駅への連絡通路にある2基のエレベーター内とエレベーターをつなぐ地下通路に計4台の防犯カメラがある。

もごみを生み出さないようにする考え方。

④メディカルケアステーションとは

医療関係者や介護関係者間等において、時系列での表示形式による情報共有ができる完全非公開型のSNSのこと。

⑤ 健全で、進化するまちとは

こだいら21世紀構想、小平市第三次長期総合計画基本構想において、目標としている5つの将来都市像の1つ。都市として進化する魅力あふれるまちを目指すとしている。